

あに

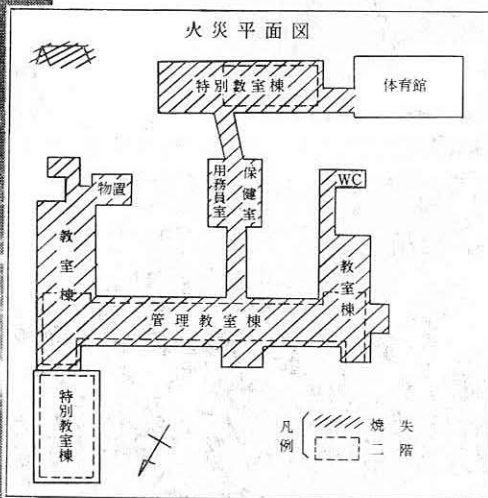
編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

'73 2 月

領 価 10 円



二度とくり返すな



復興に全力を

阿仁部学童スキー大会を明日に控えた二月十日夜九時三十分頃、阿仁合中学校で火災が発生、発見が遅かったせいもあつて必死の消火作業もむなしく、わずか一時間足らずの間に、木造校舎三棟二千七百七十四平方米と、民家一戸が焼失しました。この火災で、普通教室十二、特別教室七が焼失しましたが、焼け残った特別教室および体育館と、古河会館を借用して現在は、平常通りの授業が行なわれています。

この火災を肝に命じ、二度とこのような不幸な事態にならぬよう、日常、火災予防に充分に注意しましょう。

町長 沢井作蔵

とは、全く不幸中の幸いと安堵いたしているところであります。

町としては、何よりもまず、生徒の授業再開を第一と考え、万全の措置を講じているところであります。

この度、阿仁合中学校の火災に際しては、町民のみならずには、心からご心配をおかけし、また、貴重な財産を焼失しましたことを本当に申しわけなく、深くお詫び申し上げます。

消防団をはじめ、みなさまの献身的な消火活動のおかげで、体育館および特別教室は延焼をまぬがれることができました。

たゞ、残念なことに隣接の民家佐藤さんの家を類焼させましたことについては誠に申しわけなく、当局といたしましたが、充分に意をつくしたいと考えていますので、よろしくご容赦のほどお願い致します。

幸いにして、あのような大火災にもかかわらず、一人の犠牲者も出なかつたこ

授業再開の準備が完了し、十三日からは授業に入つて

火災当日、たゞちに町の教育委員会を開いて当面の対策について話し合い、翌日十時半からは、議員の緊急協議会を招集して、町議会の協力のもとに、当面の課題である明日からの授業再開について協議しました。その結果、とりあえず焼け残った特別教室はそのまま、教室として利用し、さらに体育館に五つ、古河会館を借用して二教室を設け、さしあつたての必要な教室数を確保することにしました。

体育館の教室の間仕切りには四五日を要するためその間は、阿仁合小学校の空教室を一時借用し、授業に支障のないようにして、十三日からは授業に入つて

生徒および教師のみならずには、誠に不自由をおかけしていますが、とりわけ高校入試を前にした生徒には、このことが負担となるのではないかと憂慮されま

新校舎再建については、たゞちに関係機関にお願いして、一日でも早く、正常な環境のもとに学業に励めるよう、鋭意努力しているところであります。い

ご猶予願います。

なお、火災に当りまして町民のみならずには、ご迷惑を申し述べましたが、各方面から丁寧なるお見舞と、激励を頂戴しており、心から厚くお礼申し上げます。

次第です。

以上、当面の火災後の措置を申し述べましたが、どうか、今後共、みなさまの力強いご支援をお願いし、出火に対してお詫びとご報告を申し上げます。

阿中 授業は平常通り再開

校舎焼失後、すでに半月余となりましたが、この間町では、当面の授業再開につとめる一方、今後の校舎再建方について、国、県の関係機関に接洽をつづけています。

幸いにして、先生方の努力のもとに、生徒たちは逆境に屈することなく、力強く立ち上がっており、現在は、仮住まいの教室とはいえ、平常どおり授業が行なわれています。

火災発生から今日に至るまでの経過を報告し、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

火災発生と同時に、町では、緊急の協議会を開き、本部を設け、災害対策の協議を急務として、関係方面への連絡につとめました。

一方、火災鎮火後、今後の対策を協議するため、今夜たまたちに教育委員会を緊急招集し、翌朝に至る協議を重ねると共に、翌十一日には、緊急の協議会を開き、本部を設け、災害対策の協議を急務として、関係方面への連絡につとめました。

その結果、さしあたって必要の措置として、まず生徒の教室の確保と椅子、机など、その他授業再開に必要な教材、および各種備品を購入するための経費として、約六百八十万円の予算



① 緊急協議会協議会でただちに当面の対策を協議 11日

措置がなされました。

授業再開に必要な教室数は十教室ですが、焼けた特別教室校舎に三教室、体育館に二教室、古河会館に二教室を配置することとし、体育館と古河会館の間仕切りが完成するまでの四、五日の間は、一時、阿仁合小学校での分散授業をするという方針で、十三日から授業が入っておりますが、教室が完成した十九日から平常通り同一場所での授業が行なわれていきます。

なお、学校の再建については、県および国の関係機関に接洽をつづけており、出来るだけ早い時期に、新校舎を再建し、正常な環境のもとに授業が出来るようにと努力中です。

生徒の授業は支障なく行なわれていますが、心配なのは高校進学を予定している受験生です。

たゞ、この事態が精神的に動揺を与え、受験にマイナスマイナにならないかと案じられますが、この点については先生方の適切な指導と、教育委員会としても万全の配慮を講じています。

町の教育委員会では、受験生の中書などが焼失したため、このことよって受験生が不利な扱いを受けまいよう、県教育委員会や関係の各高等学校に対して接洽しており、その結果は決して不利な取扱いはしない、という確約を得てあり、逆、この事態を刺激として更に一層ガンバッテほしいとの激励をうけています。

どうか、受験生をはじめ、家来のみなさまも、屈することなく、意を新にして努力されるよう、願っております。



② 「学校がなくなった」焼跡に茫然とする中学生 11日

いとの激励をうけています。どうか、受験生をはじめ、家来のみなさまも、屈することなく、意を新にして努力されるよう、願っております。

同窓会で義援金運動に立ちあがる

阿仁合中学校同窓会（会長古田順徳、阿仁町役場勤務）では、今回の火災に伴い、義援金募集運動を展開することになりました。

この度の火災では、学校関係の一切の書類は、生徒のクラブ活動の備品もすべて焼失していることから、こうした生徒の備品関係の一助にでも、というのがねらいで、広く運動に参画されることを希望しています。

同窓生は、現在で約三千五百人いると推計され、募金運動は、町内関係は各部落ごとに協力員を置き、協力員を中心として行ない、さらに、町外については、移転先の住所を調査の上、協力依頼を出すことにしています。

どうか同窓生のみなさん、もとより、中学校を卒業したお子さんの家庭がありましたら、就職先に連絡していただくなど、この運動へご協力くださるようお願いいたします。

連絡先は阿仁合同窓会事務局（阿仁町役場、電話二二〇番）となっております。



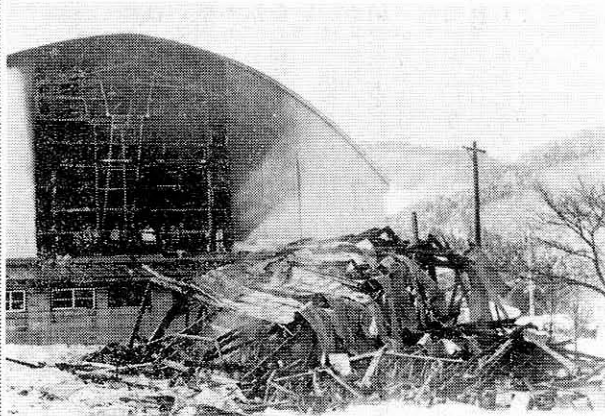
③ P、T、Aと役場職員との合同で焼跡の整理 13日



④ 体育館と古河会館では教室造りの突貫工事 12日



⑤ 「君達は若い、くじけるな」阿仁合小学校での間借授業 13日



⑥ この体育館とほかに特別教室が残ったのがせめてもの救い

ただいま九〇%

町民体育館工事

本年度の事業で施工されている町民体育館工事が雪溶けを前に、急ピッチですめられています。

ことしは、雪が少なかつたために、冬の工事に思つたより順調にすすみ二月二十日現在で、約九割方の仕上がりとなつています。

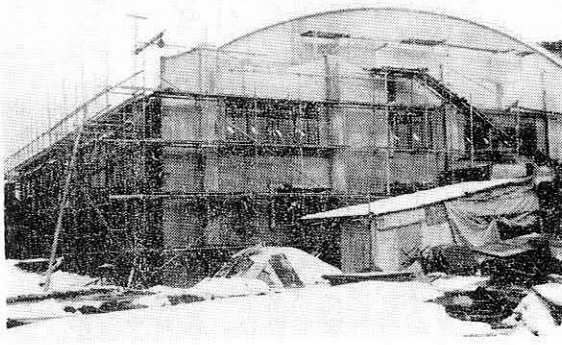
煙町本町東裏のたんぼの中に、今一面の雪野原ですが、丸いカマボコ型の屋根がどつかと灰色の俣容を表わし最後の仕上げにはむ工事関係者がせわしくたちまわつています。

内部は、体育室が一階と二階、それに附属室があり延面積千二百三十三平方

の広さとなつており、三千八百七〇万円の工費で、鷹巣土建によつて施工中です。

工期は三月十五日、雪溶けの春からは、町民の健康づくりのセンターとして活用されることと見られています。

また、火災のため阿仁合中学校の体育館として、一日も早く完成が待たれると見られています。



◎ 3月8日前7時20分からNHKテレビで、比立内の鳥追い行事が放送されます

ご協力を感謝

歳末助け合い運動は、みなさんの善意で、二十二万八千三百三十三円が寄せられました。

その中には、阿仁合小学校の職員および生徒会の四千四百五十八円という寄金があります。

いただいたお金は、町の社会福祉協議会で配分会議を開き、その決定により次のとおり配分致しました。

- 歳末助け合い 九千五百円
- 郡振出金 五千五百円
- 救済基金 三千円
- 生活保護世帯 七十九戸 七万一千二百五十九円
- 準保護世帯 二十九戸 六万六千五百円
- 長期入院者 二十四名 二万四千円

老人ホーム 五十名 二十五万円
母子寮 一戸 一万五千円

歳末たすけあい部落別一覧		円	
部落	戸数	金額	戸数
名小	18	3,250	11
小	28	2,000	7
小	32	3,400	143
小	77	10,400	45
小	34	4,700	86
小	56	7,300	34
小	36	4,800	13
小	15	1,600	17
小	36	6,300	84
小	14	1,600	31
小	74	14,350	143
小	6	600	4
小	12	2,450	28
小	6	600	56
小	106	18,350	36
小	44	6,000	36
小	36	3,600	36
小	13	1,570	
小	15	1,950	
計			1,591
			228,303

- 上杉組 上杉金治 金 二万円
 - 鷹巣町長 出川礼一 金 二万円
 - 大館 伊藤組 金 五千元
 - 秋田 小畑設計事務所 金 三万円
 - 合川町長 金 一万円
 - 鷹巣中学校長 長岐瑞彦 金 五千元
 - 阿中同窓生 鷹巣町 金 一千元
 - 阿仁町 児玉書店 金 一千元
 - 秋田中央協販 石川利郎 ノート二百四十冊 鉛筆二十四ダース
 - 大館 一条金庫 金 一千元
 - 鷹巣町 秋北新聞社 ノート三百六十冊
- また、消火作業および焼跡整理に対するお見舞として、次の方より飲料等が寄せられました。
- 古河阿仁鉱業所、根子農道銭高組、古河阿仁林業所、上小阿仁村長、秋田科学物産、第一御銀秋田支店佐藤嘉永。

献血ありがとう

本年度の目標を達成

献血車あかつき号による今年度最後の献血が、十二月二十二日役場前で行なわれ、三十六名の方より、ご協力いただきました。

この結果、今年度の当町の実績は百五十五本となり目標の百三十七本に対し、一一三%の達成率となりました。

これも、みなさまの尊い善意の賜ものであり、厚くお礼申し上げます。

◎献血者名
桜田肇、大井伊佐男、高橋正、佐藤栄蔵、上杉良子、佐々木敏、坂本俊雄、伊東昇一、越前谷範彦、相馬栄一、大野賢一、吉川将祥、湊広、西野勇蔵、齊藤子蔵、湊邦造、西根竜郎、佐藤サダ、伊藤鉄治、吉田ヒロ、金谷一郎、柴田ヨリ子、高田道夫、小武海祐子、奈良光杉、石田一男、柴田金五

48年度交通災害共済加入の受付

昭和四十八年度交通災害共済加入の申込み受付を二月一日からはじめています。万一の交通事故に備え、ぜひ加入されるようおすめします。

◎期間
四十八年四月一日から四十九年三月三十一日

◎掛金
一人三百円

◎加入資格
当町に住民票のある人、受付は、支所及び役場窓口で行なっています。

火災通報は「どこそこが火事です」の一声で

火事は一刻を争いますが、日の中学校の火災で、公衆電話から通報した人が、「消防署を呼んでほしい」と云つたところ、「十円を入れて下さい」といわれ、その十円が無くて消防署へ連絡できなかった、という事がありました。火災の通報は、局の交換が「〇〇が火事です」と云えば、公衆電話でも料金は不要で、また、局の交換ですぐに消防署に連絡して下さる事になります。

火災の場合の通報は、早く電話で「〇〇が火事です」と云つてください。参考までに阿仁消防署は三七七番です。

善意

老人ホーム

年末、年始に阿仁町老人ホームへ、次のとおりたくさんさんの慰問がありました。

◎上新町八田サダさんがミカンを持参して慰問。

◎森吉町巻瀨の村尾リヤさんほか十五名の方が、お酒など飲物を持参し、芸能を披露。

◎鷹巣町ボランティアの日影勝正さんほか十七名の会員が、果物やお菓子、キリタンポをご馳走、芸能を披露。

◎鷹巣町長生大学若鷹巢奉仕団の成田武松さんほか十六名の方が、お酒 お菓子果物を持参し慰問。

◎広域消防阿仁消防署員の佐藤栄蔵さんほか十一名の方が、ホームで餅つきを披露して慰問。

◎北秋田連合婦人会々長土濃塚イマさんほか十五名と阿仁町婦人会佐多会長ほか五名の方から、連合婦人会からとしてお年より一人に五百円づつを、また、阿仁町社会福祉協議会からとして五百円づつのお年玉を。

◎以前、阿仁町の真木に居住していた千葉県の山口浩三さん夫妻から、くつ下百三十足を。

◎千葉県八千代市那須電機鉄工業株式会社の高橋滋治郎さんは、みかんとお酒を持参し慰問。

◎比内町町長ほか二名の方が、みかんを持参し、自町出身者の老人に三千円をプレゼント。

◎日本専売公社から、タバコを二百五十五ヶ贈られる。

◎中小企業・設備機械貸与の受付

秋田県中小企業振興公社

では、県内の中小企業者を対象に、設備および機械貸与を実施しておりますが、四十八年度第一回の借受申込みについて、次のとおり受付することになりました。ご希望の方は、役場商工係に申込み下さい。

一、受付期間
昭和四十八年三月一日～三月三十一日

二、申込書類
公社所定の申請書使用

三、申込方法
公社へ二部、各町村経由のうえ行なうこと

47年分所得税の確定申告納税は 三月十五日まで

一、納税は便利な振替納税で

所得税の確定申告書の書きかたは、税務署からお届けしている「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書きかた」に説明してありますが、わからない点はご遠慮なく税務署へご相談ください。

納税には、銀行などの預金口座から振替えて納税する振替納税制度を利用されますと、手数料が省けてたいへん便利です。

申告期限間近になりますと、税務署の窓口が混雑しますから、申告は早めに行なわせてください。

慶弔だより12月

- ◎こんにちは・赤ちゃん
誕生名 保護者 住所
菊地 正行(次雄) 牛滝
佐藤 聡(勝) 比立内
金萬 誠志(誠栄) 戸島内
鈴木 千秋(幸雄) 中村
高岡 智美(邦男) 比立内
佐藤 一男(茂) 比立内
松橋 永年(賢悦) 東裏
森川 智徳(喜則) 大町
加賀谷孝之(久) 荒瀬
田口 洋子(米雄) 根子
和田 友恵(克郎) 御蔵
◎結婚・おしあわせに
福田 一郎 吉田 比立内
湊 重雄 森吉町
高岡 重雄 湯口内
佐藤 優子 湯口内
小沢 満夫 千葉県
齊藤 英博 鷹巣町
辻 タツ子 湯口内
高岡 栄子 川崎町
戸岡 助光 上新町
武田 義信 上新町
伊藤 靖夫 大新町
村岡 良子 荒瀬
平川 義己 二ツ井町
湊 よし子 根子
原 生太子 千葉県
深山 保子 吉屋渡
松橋 東吉(77) 幸屋渡
湊 三太郎(64) 根子
高橋 キン(87) 荒瀬川
細田ナツ(68) 老人ホーム

町の人口

七、八三七人 (八人増)

男 三、七四七人
女 四、〇九〇人

世帯 一、八一五 (一世帯減)

出生 十人
死亡 一人
転入 二二人
転出 二三人

昭和48年1月31日現在
住民基本台帳による

後記

火災のため、広報発行の遅れをお詫びします。47年組写真「ガンバル健康の恋人」が入選しました。火災にもめげず、立ち上る中学生、あとは高校進学を成功を願つてガンバルとを祈ります。